

機動隊員等を励ます会

設立40周年

新日鉄住金や五十鈴グループなど約2,300社の法人会員、約1,170人の個人会員で構成し、機動隊員の活動を支援している「機動隊員等を励ます会」が4月で設立40周年を迎えた。5代目の羽矢惇理事長（元・新日本製鉄副社長、前新日鉄住金エンジニアリング社長）に節目を迎えた思いなどを聞いた。



羽矢惇理事長
インタビュー

「設立40周年を迎えた思いから。」
「元・新日鉄副社長で、後に山陽特殊製鋼の社長、会長を務めた大内俊司さん（故人）、五十鈴グループ会長の鈴木實さんたちが中心となり、この会が設立された。大内さんは初代理事長を、鈴木さんは2代目理事長を務めていただいた。3代目

支店、各地方の取引先と協力しながら会を立ち上

生活、経済活動の安定化にも欠かせない。

法人・個人会員増やす

は佐々木喜朗さん（元・新日鉄副社長）が、また4代目には小山巖さん（元・新日鉄副社長）が理事長に就かれた。浅間山荘事件における機動隊員の文字通り命を懸けた活躍がきっかけで、機動隊員を中心とした警察官の警備活動を激励し、支援することを目的とする。当時、大内さんは新日鉄の営業担当役員であり、新日鉄の国内支社・

「社会生活、経済活動は安全な社会が大前提にしている。これを維持するのが警察であり、機動隊員である。その方々をわれわれは陰で支えている。以前は過激派による暴力行為・犯罪など目に見える危険存在に立ち向かっていたが、今は国際テロ、サイバー犯罪をはじめ目に見えない形で治安を脅かすファクターが増え、企業の経

「大規模災害警備での出動は激励品やインスタント食品などを提供する。東日本大震災では会員から寄付を募り、総額1500万円分の支援が毎年表彰する全国優秀機動隊員約100人の海外研修を支援している。本年は2月にシンガポールで行った。このほか、全国殉職警察職員・警察協力殉難者慰霊祭に出席したり、毎月1回の朝食講演会を開催し、月刊機関紙『はげまし』を発行している。」

30、40代に啓蒙活動推進

「74年に任意団体として設立し、76年に警察庁警備局警備課所管の社団法人として認められた。法人改革によって、12年4月に一般社団法人に移行した。これ

「74年に任意団体として設立し、76年に警察庁警備局警備課所管の社団法人として認められた。法人改革によって、12年4月に一般社団法人に移行した。これ